

■児童・生徒の学力の状況

- 国語に関しては、本校の平均は全国の平均を上回っているものの、東京都の平均より2ポイント低い。
- 数学に関しては、本校の平均は全国の平均よりも約8ポイント、東京都の平均を3ポイント上回っている。
- 理科に関しては、本校の平均は全国の平均よりも0.3ポイント高く、東京都の平均と同じである。
- 生徒の読書習慣の不足、国語への苦手意識、他者と協力して思考を深める経験が不足傾向である。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題

- 「読むこと」における多角的・批判的思考の育成をおこなう。
- 「書くこと」における表現力と論理構成力を強化する
- 「話すこと・聞くこと」における実践的コミュニケーション能力の向上を図る。
- 「我が国の言語文化に関する事項」における伝統的な言葉や文化への理解促進を図る。
- 証明問題への体系的なアプローチを行う。

■学校経営方針より（学力向上に関わる内容から）

- 各教科において、自己選択型学習を多く取り入れ、自己の課題に合わせた学習が行えるよう支援する。
- 読書習慣の定着を図るために、朝読書や図書委員会を活用した読書イベントを開催し、生徒の読書習慣の定着を目指す。
- 授業中にグループワークやペアワークをより積極的に取り入れ、他者と意見を交換する機会を増やすことで、思考力や表現力を養う。
- 数学の授業では、習熟度別少人数指導の強みを生かし、自己選択型学習の中で基礎問題から応用的な照明まで、段階的に難易度を上げていく演習を充実させる。
- 家庭学習において個別最適化された主体的な学びを实践させるため、生徒が自己の課題を発見し、解決策を考え主体的に実践できるよう支援する。

■授業革新推進に向けての具体的な方策

視点1	視点2	視点3
板橋区授業スタンダードの徹底、及び板橋区授業スタンダードSの取組	総合的な学習の時間の充実	家庭学習ノートを活用
○各教科で板橋区区授業スタンダードに準拠した形で授業を展開し、各自が着地点や自己の理解度を把握できるように、めあてや振り返りを工夫する。 ○自己選択型学習を多く取り入れる	○総合的な学習の時間の中で、探究的な学習を自己選択型で実践する。これにより、自己で目標設定をさせた、探究的な学習を实践させ、自分の力で課題を解決できる力を養う。	○家庭学習ノートを活用し、自己の課題を発見できる力、解決策を考える力、課題解決に向けて主体的に取り組める力を育成できるように、毎日ノート点検を行い支援する。

■いたばし学び支援プラン2025の実現に向けた具体的な取組

小中一貫教育の推進	カリキュラム・マネジメントの推進	ICT環境の適切な維持と活用 個別最適な学び・協働的な学びの実現
板橋第四小学校と合同で作成した、小中一貫カリキュラムをもとに、読み解く力の育成を实践する。 また、地域の祭礼などにも板橋第四小学校と一緒に参加し、郷土愛の育成を行う。	総合的な学習20時間を使って、探究型の自己選択学習を实践する。実践に当たっては進路指導主任を中心に計画をたて、研修会を行い教員全体の意思統一を図り、計画に沿って実践する。 他の手本となるような内容は、学習成果発表会で発表させる。 これらにより、生徒のメタ認知能力を向上させる。	若手でICT活用に積極的な教員をリーダーとし、機器の活用に関する情報提供や助言を行わせ、効率的・効果的な授業が実践できるよう教員のスキルを向上させる。 学習のまとめや授業の振り返りなどに積極的にICT機器を使用させる。 生成AIを活用した業務改善にも取り組ませる。